兎さんの本屋とリスの先生

村山籌子

青空文庫

あるところに大変そそつかしい本屋さんがありました。兎さんです。ある日、お店へ本が来ましたので、フロツクコートを着て、鼻眼鏡をかけて、ステツキを持つて、その本を小脇にかかへて（人間から見るとおかしいですが、兎の本屋さんはこんなものです）売りに出かけました。

森の入口で、リスさんに会ひました。大変悧口さうなひげを生やしたリスさんですから、本を買つてくれるだらうと思つて「リスさん、本を買つて下さい。私はりつぱな本屋さんです」といひました。リスさんは、兎さんがフロツクコートといふ服を着て、鼻眼鏡をかけてゐるし、それにステツキをついてゐるので、成程りつぱな本屋さんだと思つて「僕は医科大学の先生です。本を買ひます。今、お金を持つてゐませんから、家までついて来て下さい」といひました。

兎さんは大よろこびで、リスさんの家へついて行きました。

遠い〳〵お家なので、家へついた時はもう真くらな夜になつてしまひました。門口まで来たので、リスさんはお家へはいつて行つて、お金を持つて来て、兎さんにお払ひをしました。

ところが、その時ちやうど六時が打つて、リスさんの村では、夕方の六時カツキリに電気がつくのです。電気がつきました。

リスさんは今買つたばかりの御本を、大きな〳〵英語や、ドイツ語や、ロシア語の字引を積みあげてあるお机の上でひろげました。

表紙には「尋常小学一年生読本」と書いてありました。

リスさんは「僕は医科大学の先生だのに‼」といつて、大変おこりました。そして兎さんをおつかけて行つてつつ返してやりました。兎さんは大変恥しくなつてかういひました。

「あなたはお子さんがありますか」

リスさんは答へました。

「小学一年の子供がひとりあります」

「それでは、これをそのお子さんに上げて下さい。お金はいりません」といつて逃げ出しました。

リスさんは兎さんが大変気の毒になつたので、あくる日、お金をとどけてやりました。

兎さんは、ベツドの中でうん〳〵うなつてゐました。なぜといつて、兎さんは、昨夜(ゆふべ)あんまり急いで逃げたので、小さな川におつこちて、指の先を怪我したのです。

リスさんはお医者さんでしたから、兎さんの指にヨードチンキを塗つてあげました。

兎さんはリスさんと、それから大変仲よくして、新しい本が来ると、いつでも十銭くらゐづつ安くしてあげましたさうです。

青空文庫情報

底本：「日本児童文学大系　第二六巻」ほるぷ出版
　1978（昭和53）年11月30日初刷発行
底本の親本：「子供之友」婦人之友社
　1932（昭和7）年11月
初出：「子供之友」婦人之友社
　1932（昭和7）年11月
入力：菅野朋子
校正：noriko saito
2011年5月3日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

兎さんの本屋とリスの先生

村山籌子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/